

## 情報公開用文書 ( 附属市民総合医療センターで実施する医学系研究 )

( 単施設研究用 )

西暦 2022 年 2 月 28 日作成 第 1.1 版

研究課題名	MAC surgery における顎関節頭の術後形態変化 ～ 骨格性開咬患者の骨格的特徴解明と治療方針の検討 ～
研究の対象	2014 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日の間に当院を受診し、骨格性開咬治療のために顎矯正手術を行った方。その中に、MAC surgery を適応し治療した方を含みます。 上顎を上方に移動することで下顎が自動的に咬み込んでくる現象を計画的に発生させ、下顎の手術での前方移動量を減らしたり、下顎を手術することなく行う治療法のことです。
研究目的 ・ 方法	変形性顎関節症に起因した骨格性開咬患者さんの骨格的特徴を解明し、その治療方針を検討すること、および MAC surgery における顎関節頭の術後形態変化を観察することが本研究の目的であり、術前・術後・術後 1 年の患者さんの CT データを 3D ソフトウェアで解析することで骨格的特徴や顎関節頭部の変化を評価し、側面頭部 X 線規格写真を用いて下顎骨回転中心の評価を行います。
研究期間	西暦 2020 年 11 月 10 日 ( 承認日 ) ～ 西暦 2024 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	診療録から以下の情報を収集します。 ・ 患者背景 : 年齢、性別 ・ 術前の顎変形症疾患の程度 ( 側面頭部 X 線規格写真より、overjet、overbite、下顎下縁平面角、下顎枝後縁角、下顎骨回転中心など ) ・ 手術情報 ( 上下顎移動量、手術方法、手術時間 ) ・ CT 検査 ( 撮像部位 : 頭頸部、検査時期 : 術前、術後 4 日目、術後 1 年 )
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 :</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 歯科・口腔外科・矯正歯科 ( 研究責任者 ) 藤田 紘一 電話番号 : 045 - 261-5656 ( 代表 ) FAX : 045-253-9908</p>	